

2/5 2016 5/2

口一<sup>ス</sup>教皇所藏文物特展  
天国の宝蔵

教廷文物特展

# 天國的寶藏

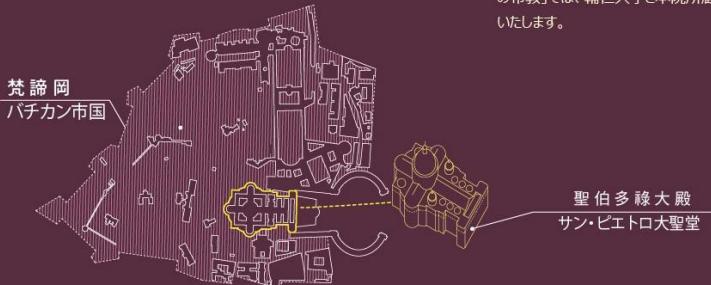


## 天國的寶藏－教廷文物特展

位於義大利中部的梵蒂岡城國，是全世界獨一無二的城市之國，天主教教宗不僅是梵蒂岡城國的政治領袖，更是天主（上帝）在俗世裡的全權代表，由他引領的天主教宗教和精神世界，影響力無遠弗屆，也同時承繼了兩千餘年天主教傳承下來的珍貴歷史文化遺產。

禮儀是宗教不可或缺的元素，天主教發展出神聖且細膩的禮儀形式。從教宗所主持的各項禮儀過程中，信徒得以崇敬天主、撫慰心靈、並聆受宗教教義與精神。儀式所使用的祭衣和聖器，兼具莊重、榮耀的藝術形式和神聖、深刻的宗教意涵。千百年來，這些祭衣和聖器由梵蒂岡宗座禮儀聖器室所典藏，除了歷任教宗曾在重要的禮儀中穿戴持用外，鮮少對外公開展示。

梵蒂岡與我國有深厚邦誼，在教廷駐華大使館和本院積極籌劃下，終使這些教廷珍寶得以在臺灣首次呈現，也是教宗文物第一次如此大規模地向世人展示。本展覽選展教宗聖器共六十組件，不但製作精美，於華麗中呈現神聖典雅的風貌，且有豐富意涵及生命力。展覽計分為聖座、教宗與歷史、禮儀年、祭臺、聖事、聖教東傳等六個單元，闡述天主教禮儀與教宗的密切關係，以及天主教發展的歷史脈絡；其中第六單元，選展的是輔仁大學與本院所藏天主教相關文物及文獻。



## 天国の宝蔵－ローマ教皇府所藏文物特別展

イタリアのローマ市内に位置するバチカン市国は、都市の中に存在する世界で唯一の独立国です。カトリック教会全体の首長である教皇は、バチカンの国家元首であるだけでなく、俗世における神の代弁者でもあります。ローマ教皇が率いるカトリックとその精神世界は広く世界に影響を与え、2千年を超えるカトリックの歴史と文化遺産を今に伝えています。

儀式を行うための「宗教儀礼」は宗教に不可欠な要素の一つです。カトリックの典礼は細かな点まで作法が定められており、神聖な雰囲気があります。教皇が執り行う様々な儀式で、信徒たちは天上の神を敬い崇め、信仰による深い安らぎを得て、カトリックの教義と精神を受け入れます。儀式に用いられる祭服と聖器は庄重な趣を湛える輝かしい芸術様式に、神聖で奥深い宗教的意義が偏わっています。千数百年来、これらの祭服と聖器は教皇儀典室に収蔵されており、歴代教皇が重要な儀式で用いる以外は、ほとんど公開されたことがありません。

バチカンと台湾は以前から深い関わりがあります。この度はローマ教皇駐華大使館と国立故宫博物院が協力し、積極的に特別展の企画を進めた結果、教皇府所蔵の貴重な文物を今回初めて台湾で展示できる運びとなりました。教皇にまつわる文物がこれほどの規模で一般公開されるのは初めてのことです。展示される教皇の聖器60組は、精緻な作りのすばらしさはもちろんのこと、華麗な中に神聖かつ典雅な趣が漂い、濃厚な宗教的意義と生命力に満ちています。この特別展は、「聖座」、「ローマ教皇とその歴史」、「教会暦」、「祭壇」、「七つの秘跡」、「東方への布教」―六つのコーナーに分かれています。カトリックの宗教儀式と教皇の密接な関わりやカトリック発展の歴史を文物と解説を交えてご覧いただきます。「東方への布教」では、輔仁大学と本院所蔵のカトリック関連の文物と文献も展示いたします。

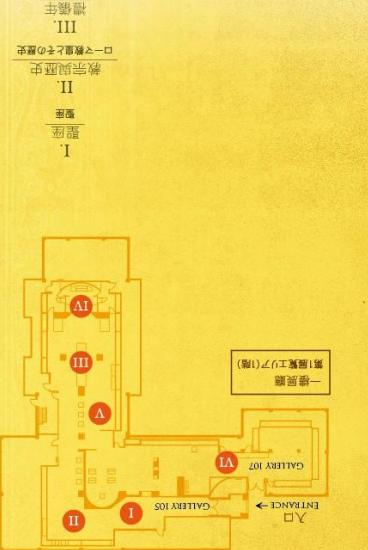
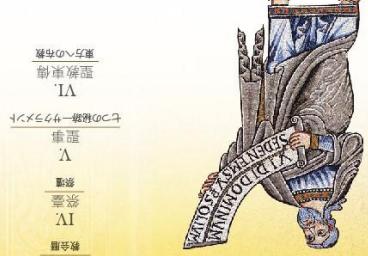
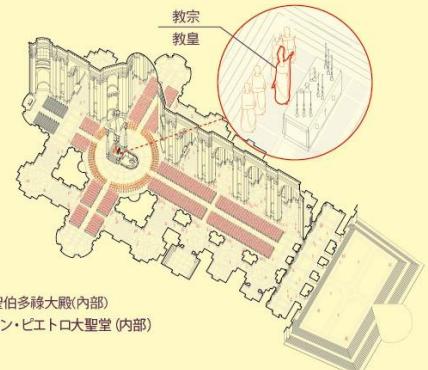
### 各區單元 | 展示構成

#### 一 聖座

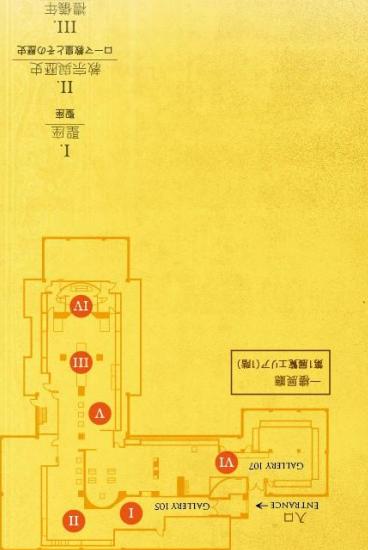
現任教宗方濟各於2013年就職，他極為重視人與自然的和諧，在最新通諭《願祢受讚頌》中，論述生態問題，希望世人效法亞西西的聖方濟，將天主創造的宇宙萬物視為自己手足，彰顯了教廷對於當今環境問題的重視。同時，教宗方濟各宣布自2015年12月8日（聖母始胎無染原罪節）起，至2016年11月20日（耶穌基督君王節）慶祝命名為「慈悲禧年」的「特殊禧年」。教宗也於12月8日禧年伊始，依例開啟聖伯多祿大殿的聖門，迎接禧年的到來。

#### 1. 聖座

2013年に第266代ローマ教皇に就任した現教皇フランシスコは、人と自然の調和をとも大切に考えています。最新の勅令『ラウダータ・シル』には、環境問題に関する論述があり、世人の人々がアッシジの聖フランチェスコを見習って、神が創造した宇宙万物を自分自身のようにとらえるよう諭しており、ローマ教皇の環境問題に対する重視が示されています。それと同時に、教皇フランシスコは「いくしみの特別聖年」の開催も宣言しました。この行事は2015年12月8日（無原罪の聖母の大祝日）から翌年の2016年11月20日（王であるキリストの大祝日）まで続きます。年初めの12月8日に聖ペドロ大聖堂の「聖年の扉」が開かれ、いくしみの年が始まります。



展示平面圖  
Exhibition Hall Plan



展示平面圖  
Exhibition Hall Plan

## 二 教宗與歷史

耶穌指派他的首席弟子伯多祿與他的後繼者，領受天國的鑰匙及宗徒之長的職位，這是教宗與羅馬教廷權位的起源。發展迄今教宗已成為天主教會的領袖和梵蒂岡城國的元首。1274年里昂第二次大公會議後，教宗由樞機主教選舉產生。自1492年起，即在羅馬西斯汀教堂舉行選舉至今，教宗為終身職。十一世紀，教宗國瑞七世推動宗教改革，教廷開始積極參與國際事務和宣達理念，在國際關係上抱持超然獨立的立場，並向俗世傳達人人都擁有共享的權力與尊嚴。教宗冠冕禮器深富意義，「伯多祿鑰匙」代表教宗是繼承伯多祿之權位，其三重冠象徵教宗擁有訓導、聖化、治理三項權力。本單元共選展十三位教宗的禮冠、袍服、配件和禮器，對天主教徒而言是殊聖無比之物。

## 三 禮儀年

天主教一年中的禮儀節期，稱作「禮儀年」。其中包括了聖誕節、復活節和聖神降臨等節慶，用以紀念耶穌基督在世間的重大事蹟。

- 將臨期：為期四週左右，是耶穌降生前的準備期。
- 聖誕期：從聖誕節到耶穌受洗日，為了紀念及慶祝耶穌降生成人。
- 四旬期：復活節前對自身心靈的準備，為期六週左右。
- 逾越節三日慶典：禮儀年的中心與高峰，最神聖的三天，目的是為了幫助信友紀念並在精神靈修上參與耶穌的受難、死亡和復活。
- 復活期：從復活節到聖神降臨，歡慶五十天。
- 常年期：第一分期在聖誕期之後，大約四至八週；第二分期則在復活期之後，為期約六個月。



祝聖候洗聖油時所用油罐(1997年)  
サクランメントで使用されるアンフォラ  
(1997)

## 2. ローマ教皇とその歴史

イエス・キリストは首座使徒の一人であるペトロとその後継者に天国の鍵と宗徒の長たる職位を授けたと言われています。これがローマ教皇とローマ教皇室の起源です。その後、カトリック教会の領袖であり、パチカン市の元首としての地位が築かれました。1274年に開催された第2リヨン公会議で教皇選挙制度の改善が図られ、教皇の没後速やかに枢機卿達による選出を始めるなど定められました。1492年からはシスティーナ礼拝堂で選挙が行われるようになりました。この制度は現在まで継続しており、教皇は終身制となっています。11世紀に教皇グレゴリウス7世が教会改革を推進したことにより、ローマ教皇室も積極的に国際上の実務に参与するようになり、教会改革の理念を広めるべく努めました。ローマ教皇室は国際的には一貫して独立した立場を保ち、誰もが各々の権利と尊厳を有することを世人に訴えました。教皇が身につける教皇冠や聖器には奥深い宗教的意義が込められています。「聖ペトロの天国の鍵」は、教皇がペトロの正統な後継者であることを示しています。教皇が戴く三重冠は「司祭・司牧・教導」の三権を表します。本コーナーでは、歴代13名の教皇が使用した教皇冠や祭服、聖器や小物などが展示されます。いずれの器物もカトリック信者にとっては非常に貴重で神聖なもので。



天主之僕教宗碧岳七世  
(1800-1823在位) 三重冠  
ピウス7世(在位期間1800-1823)  
の三重冠

## 3. 教会暦

カトリックの中行事は「教会暦」に沿って行われます。イエス・キリストの偉大な事跡を記念するクリスマスや復活祭、聖靈降臨などの行事があります。

- 待降節：イエス・キリスト降臨前の準備期間にあたり、約4週間あります。
- 降誕節：クリスマスからイエスの洗礼日までを言い、イエス・キリストの誕生を祝います。
- 四旬節：復活祭前の準備期間で約6週間あり、心を清めて復活祭を待ちます。
- 過越の聖なる3日間：教会暦の中心的行事で、クライマックスでもあります。この最も神聖な3日間に、信徒らはキリストの受難と死亡、復活に思いを馳せつつ精神を高めます。

## 四 祭臺

天主教の祭臺大多以石材製作，是教堂內舉行各種重要禮儀的主要空間，同時也是耶穌身體臨在的象徵。它也是天主教慶祝彌撒中聖祭禮儀時「主的餐桌」。在餐桌上，神父祝聖無酵餅和葡萄酒，使之轉化為耶穌基督的聖體和聖血，成為信友們的生命食糧和精神飲料。置於祭臺上或祭臺旁的蠟燭，則意謂著耶穌為世界的黑暗帶來光明。主的餐桌很自然的令信友們聯想起耶穌與門徒的最後晚餐，以及耶穌無條件為罪人犧牲生命的偉大情操。



真福教宗碧岳九世(1846-1878在位)  
の聖爵與聖盤  
ピウス9世(在位期間1846-1878)  
の聖杯と聖皿

## 五 聖事

舉行七件聖事慶典是天主教最重要的禮儀，藉由聖事，信友們可以經驗到天主真實的臨在，並領受恩寵。這七件聖事包括：

- 一、聖洗聖事：滌除原罪，為信友開啟成為天主教會大家庭一員之門。
- 二、堅振聖事：受洗過的信友，可領受豐厚神恩，堅定信仰生活，並見證天主之愛。
- 三、感恩聖事：藉由恭領耶穌聖體、聖血，使信友與基督天人合一。
- 四、和好聖事：經由天主原諒信友的過失，信友才能與天主及他人重歸和好。
- 五、傅油聖事：透過天主恩寵，對信眾身體和心靈上的病痛，給予安撫與治癒。
- 六、婚姻聖事：結合一男一女，以自我犧牲奉獻的愛，願意終身相守的盟約。

• 復活節：復活祭から聖神降臨までの50日間を指します。

• 年間：降誕節の後、約4週から8週間が第1期とされます。復活節の後、約6ヶ月間が第2期とされます。

## 4. 祭壇

カトリックの祭壇は石材で作られたものが多く、教会の大切な典礼の數々は主にこの祭壇上で行われます。祭壇はキリストの象徴でもあり、カトリックのミサ聖祭では「主の食卓」とされます。神父は祭壇にイースト籠を入れずに焼いたパン（ホスピア）と葡萄酒を供え、パンをキリストの聖体、葡萄酒を聖血とします。この二つが信者らの魂の食料と精神の飲料になります。祭壇上とその脇に置かれたキャンドルは、キリストの光がこの世の闇を照らすことを意味しています。「主の食卓」は、キリストと弟子達がともにした「最後の晩餐」と、罪人のために命を捧げた偉大な神をご自然に連想させます。

## 5. 七つの秘跡—サクラメント

「七つの秘跡」はカトリックの大切な儀式の一つです。この儀式を通して信者は神の存在をその身で感じ、その恩寵を授かることができます。「七つの秘跡」の内容は次の通りです。

1. 洗礼：洗礼によって原罪とそれまでの罪が赦され、カトリック信者の一員となります。
2. 堅信：洗礼を受けた信者は神の恩寵を授かって信仰心をより強くし、神の愛を実感します。
3. 聖体：キリストの聖体（パン）と聖血（葡萄酒）をいただくことによって、神と信者の結びつきは一層強まり、信仰を深めることができます。
4. ゆるし：犯した過ちは神によって赦されます。悔い改めて回心した信者は再び神と他の信者らとともに清らかな信仰生活を送れます。
5. 病者の塗油：聖なる油を塗って、信者の身体と心の病の痛みや苦しみを和らげて癒します。
6. 婚姻：一組の男女が互いに助け合い、終生変わらぬ愛を約束します。
7. 叙階：男性信者は司教や司祭、助祭などの聖職に就け、神と教会、信者に奉仕することができます。

教皇聖器收藏室には、聖杯や聖皿、ピック（聖体容器）、ミサ用の鈴、小さなロウソク台、水差し、聖体顯示台、聖油入れなどが保管されています。いずれの聖器も教皇が七つの秘跡を執り行う際に用いる祭器です。

七、聖秩聖事：天主教男性教友，可依聖秩被祝聖為執事、司鐸和主教，為普世教會和天主子民服務。

在教宗聖器收藏室中，保有聖爵、聖盤、聖體盒、鈴鐘、小蠟燭臺、水壺、聖體光座、油罐等，均是教宗在執行七項聖事所使用的各種禮器。

## 六 聖教東傳

聖方濟各沙勿略（1506-1552）是耶穌會的七位創始人之一。1540年，教宗保祿三世（1534-1549在位）批准成立耶穌會後，他在葡萄牙王約翰三世（1502-1557）的請求下，前往東方傳教。隨後，將天主教傳播到印度、麻六甲、摩鹿加群島和日本等地。1552年，病逝於廣東外海的上川島，未能踏入中國本土傳教。

沙勿略死後三十年間，中國因正逢倭患而實施海禁，教會一直無法順利入華宣教。1573年，范禮安（1539-1606）出任耶穌會東方視察員，主張不宜採直接傳教法，以學習當地語言並熟習當地社會民情風俗作為準備。九年後，1582年12月，羅明堅（1543-1607）和利瑪竇（1552-1610）終於成功抵達廣東肇慶，建立了「僕花寺」。利瑪竇前後駐足韶州、南昌、南京和北京等地，最後長眠於北京。在華期間，他與中國士大夫交遊，採行知識傳教的策略，與奉教士人徐光啟等合作翻譯西學書籍，介紹當時歐洲的自然哲學、音樂、曆法和數學等知識。利瑪竇及隨後而來的傳教士們，不但擴大了天主教的宗教影響力，也積極拓展東西雙方的交流和認識。



聖方濟各・沙勿略(1506-1552年)  
聖髑與聖髑箱  
フランシスコ・ザビエル(1506-1552)  
の聖骨箱と聖遺物

## 6. 東方への布教

フランシスコ・ザビエル（1506-1552）はイエズス会の創始者7名の内の一人です。1540年にローマ教皇パウルス3世（1468-1549, 在位期間1534-1549）によってイエズス会が認可されると、ポルトガル王のジョアン3世（1502-1557）の求めに応じて、伝教のためにアジア地域へと旅立ちました。その後、カトリックはインドやマラッカ王国、日本などへ伝えられました。ザビエルは1552年に広東外海に位置する上川島で病により逝去し、中国大陆への伝教はついにかないませんでした。

ザビエルの死後30年間、明王朝に倭寇禁圧と密貿易取締りのために海禁令が発布され、宣教師たちも中国大陆での布教を果たすことができませんでした。1573年にアレサントロ・ヴァリニャー（1539-1606）がイエズス会東インド管区の巡察師となりました。ヴァリニャーは直接的な布教方法に異を唱え、布教の前にその国の言語を学び、現地の社会風俗や民族性をよく理解するべきだと主張しました。それから9年後の1582年12月にミケーレ・ルジエリー（1543-1607）とマテオ・リッチ（1552-1610）の二人がついに広東の肇慶に到達し、「僕花寺」を建立しました。マテオ・リッチは韶州や南昌、南京、北京などを訪れ、最後は北京で生涯を終えましたが、中国大陆で過ごした間に士大夫達と交遊を持ち、知識を伝える形で布教を試みたほか、キリスト教徒の徐光啓など協力して西洋の書籍を翻訳し、ヨーロッパの自然哲學や音楽、曆法、数学などの知識を紹介しました。マテオ・リッチと共に続く宣教師たちは、カトリックの影響力を拡大しただけでなく、積極的に東西の交流と相互理解を促進させたのです。



《程氏墨苑》  
明萬曆滋蘭堂原刊本  
「程氏墨苑」  
明万曆滋蘭堂原刊本